

# 残留溶媒分析に最適なソリューション

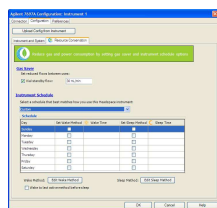
## Agilent 7697A ヘッドスペースサンプラ

新機能により、今までにない再現性、安定性  
操作性を実現！スタティックス法に革命を！



### ☆特徴・新機能☆

- 36バイアル x 3ラック + 3検体(緊急用)=111サンプル対応  
多検体はもとより緊急時にも威力を発揮！
- オプションのバーコードリーダー搭載によるサンプルの一元管理  
多数のサンプルバイアルと分析データのバーコード管理が可能に！
- サンプリング部分のモジュール化によりサンプルパスの均一な温度制御  
均一な温度制御で安定的なDATAをご提供！
- 新不活性ラインの採用により、キャリアオーバーを最小化  
より精度の高いDATAの取得が可能に！
- EPCによるバイアル加圧、ループ内圧力制御による高い再現性  
効率的、安定的な捕集を実現！
- 独自のリークテスト機能により安定した分析をサポート  
機器側かバイアル側かのリーク箇所の切り分けが容易に！
- ヘッドスペースサンプラとGC(MSD)の一元コントロール可能な最新  
ソフトウェアが更なる操作性をご提供
- 省エネ機能搭載  
ソフトウェアのプログラムによりガス、サーモスタットのON/OFFが可能に！  
貴重な資源の消費削減が可能！



### 医薬品

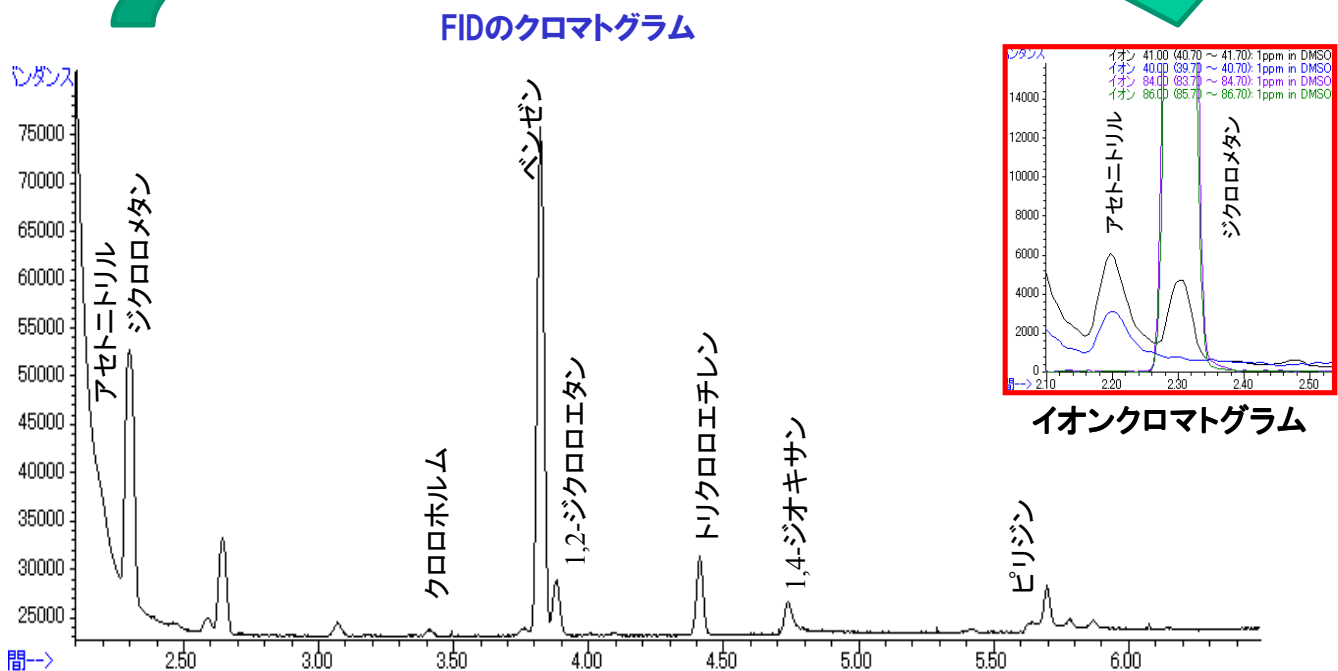
医薬品中の残留溶媒分析

詳細は [www.agilent.com/chem/ip](http://www.agilent.com/chem/ip)  
または 担当営業までお問い合わせください



Agilent Technologies

# ヘッドスペースサンプラを用いた残留溶媒の分析例



パージ付2ウェイ・スプリッター使用により、MSDとFIDの同時取り込みを行い、低沸点はイオンクロマトグラムにて抽出・分離が可能に！



パージ付2ウェイ・スプリッター使用により、DMSO溶媒をバックフラッシュで排出可能！

## 【GC/MS/FIDの主な条件】

装置 Agilent 7890/5975C TAD  
 カラム1 VF-624ms (30m\*0.25mm\*1.4 μm)  
 カラム2 1.3m, 0.15mm → MSD  
 カラム3 0.6m, 0.15mm → FID  
 カラム分岐比 MSD:FID=1:1  
 注入法 スプリット  
 イオン源温度 230℃  
 四重極温度 150℃  
 FID 250℃

## 【7697A HSSの主な条件】

オープン温度 120℃  
 ループ温度 120℃  
 トランスファーライン温度 150℃  
 バイアル平衡化時間 10min  
 バイアル加圧 15psi (50ml/min)

詳細は [www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)  
 または 担当営業までお問い合わせください



Agilent Technologies